

1. 第3回新しい学校づくり吉野川市・阿波市地域協議会における意見整理

- ・ 日 時 平成19年5月29日（火）
- ・ 場 所 鴨島商業高校 会議室
- ・ 議 題 商業科・農業科併設のメリットを活かした教育について

(1) 商業科・農業科併設のメリットを活かした教育について

①新高校の基本方針について

- ・ 社会に出て幸せな人生が送れるようにするのが学校教育の基本である。新しい学校では、勉強もさることながら、道徳的で就職しても人の和を大切にする生徒を育てていかなければならないと思う。
- ・ ただ今の意見は、人間の社会を形成していくうえで、最も基本的に身につけていかなければならないことだと思う。先ほど示された新高校の基本方針の育てたい生徒像の中でも、一つの重要な柱として踏まえているので、そのことをいつも忘れないでいただきたい。学校でも社会に出ても、こうしたことが身についた子どもたちを育てることは、素晴らしい専門性を身につけていくうえでも大事なことだと思う。
- ・ 育てたい生徒像に「身体のたくましさ」「たくましい体」が欲しいと思う。

②総合選択制について

- ・ 高校のわずか3年間で、自分の専門だけでなく他の専門もということになると、どっちつかずにならないのか。他県の状況を見た場合、総合選択制で幅広い資格取得につながるのか少し疑問に思う。視察の感想を聞きたい。
- ・ 視察校では、総合選択制により資格取得の幅が広がるとともに、進路選択の視野も広がっているということであった。
- ・ 新しい高校では、大学進学を希望する生徒に対してどう対応するのか。
- ・ 選択科目群の中に普通科目を取り入れることによって、進学希望にも対応したい。
- ・ 海部高校では総合選択制を導入しており、普通科の就職したい生徒にとっては商業科目の選択が、商業科の進学したい生徒にとっては普通科目の選択が、就職及び進学にそれぞれ有利であった。また、総合選択制には、学科の垣根を越えて友達になれるというメリットもあった。

③新高校の積極的広報について

- ・ 開放講座、出前授業などの地域連携を通して、新しい高校へ行けば、こういうことを学ぶことが出来ると、子どもに意欲、目的意識を植え付けさせるのはすごく大事だ。わずか3年間でも、学ぶ意欲と目的意識があれば、資格取得にも意欲的になり、進路にも有利となる。新しい高校のメリットを子供たちに十分に宣伝し、生徒を受け入れる施策をとらないと、せっかく良い高校ができて意味が薄くなる。

④視察報告（A校，B校，C校）に対する意見について

- ・視察3校とも地域の実情をよく考え、地域を大事にしている。地域の発展につながっていくような内容，改革であったと思う。吉野川市・阿波市での新しい学校についても，最終的には地域の発展につながるような学校ができたらと思う。
- ・新しく別施設を作るということは経費がかかる。視察C校は，距離も似たような条件であり，両方の校舎・設備を上手く利用して1つの高校が運営されており，今回の合併の参考になる。
- ・商業・農業ともに一緒に伸びていく視察C校のような形が一番良いと思う。少子高齢化の非常に子供の数が少ない中で，商業も農業も両方できるような人材が育成される学校が良いと思う。自分の子供をやりたいと思うような，商業・農業が一つになった高校を，この話し合いの中でつくっていただきたい。

2. 新高校の基本方針について（案）

○学校像

- ①生徒が希望する進路の実現を目指す学校
- ②地域の発展に貢献する人材育成を目指す学校
- ③豊かな人間性や共生の心を培う学校

○育てたい生徒像

- ①自己の目標や夢の実現に向かって，意欲的に取り組む生徒
- ②商業・農業に関する専門知識・技術を身につけ，地域の発展に貢献する生徒
- ③地域を愛し，心身共にたくましく礼儀正しい生徒

○特長的な教育

- ①地域に根ざした両校教育の伝統を継承し，融合・発展させた多様な教育
- ②地域と連携し，地域の活性化に資する実践的な教育
- ③地域の自然や文化と触れ合う体験的な教育や，食の安全・安心の観点からの教育

3. 商業科，農業科併設のメリットを活かした教育＜イメージ図＞

